

パパ・ママ子育て知恵袋

第46回は「ちょっと頑張れる子に」

「夢や希望をもたせる」「自己肯定感を高める」「好きなこと、得意なことを伸ばす」ことが大切……。どれも当たり前のように言われてきたことです。けれど「ホントにそうなのか？」と疑っています。

「夢や希望＝あこがれの職業」という図式がありますが、あこがれの職業がない子供には夢や希望がないと言ってしまってよいのでしょうか。そもそもあこがれの職業に就けて、ごはんが食べられている大人ってどれくらいいるのでしょうか。

「日本の若者は、外国の若者と比べて自己肯定感が低いことが問題」という論調への疑問もあります。経済状態も道德観も異なる諸外国と比較することへの疑問です。そもそも、コンプレックスや劣等感があつた方が思慮深い人間になれるのではないのでしょうか。

「好きなこと、得意なことを伸ばす」という考え方には賛成。でも、好きなことや得意なことがない子だっています。「好きなこと探し」を続けるのはよいけれど、「好きじゃないことでも、ちょっと頑張れる子」にする方が大切なのではないのでしょうか。

「どうしてもこの仕事に就きたかったというわけじゃない。ごはんを食べていくには働かないといけないから、とにかく仕事を見つけた。楽しいことなんてなかった。『月末で辞めよう』と思っていたら、なんとなく年末を迎えて、ボーナスが出なかったから『春になる前に辞めよう』と思って働いていたら、3年経った。『あれ？ この仕事、俺に向いてるかもな』とほんの少し思ったら、5年経った。結婚して、子供ができて、やたら責任ばかりが増えていった。でも『まあまあ、そこそこ幸せかな』と思って、俺は明日も会社に行く。」

コロナ禍の前に知人がぼそっと話してくれたことです。

（あ、こいつには勝てない）と思いました。

この男、ちょっと頑張れる奴でした。